

“いのちのつながり”に貢献する医療、研究のために



DIversity + INclusion

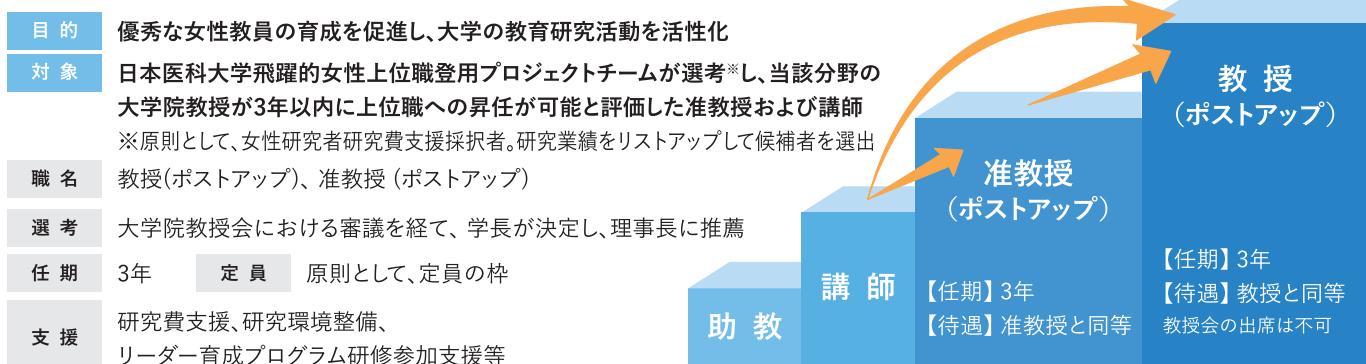
ダイバーシティ & インクルージョン



女性上位職登用に向けた各制度のご紹介

本事業では、女性研究者の上位職への登用を積極的に推進し、次世代のリーダーとなる人材を着実に育成することを主眼に置いています。この目的を達成するためには、持続可能な高い女性上位職比率を実現するための体制を構築し、効果的な支援を提供することが不可欠です。そのために、個々のニーズや課題に応じた取り組みを提供し、女性研究者がリーダーのポジションに就き、活躍することを促進しています。

日医大 ポストアップ教員制度(2023年8月1日施行)



登用フロー



2023年11月に2名、2024年4月に3名の教授(ポストアップ)が誕生しました!

<p>病理学 (解剖学) (病理学) 講師 2023年11月1日 遠田 悅子</p>	<p>内科学 (内分泌代謝・ (腎臓内科学) 准教授 2023年11月1日 三井 亜希子</p>	<p>先端医学 研究所 病態解析学部門 講師 2024年4月1日 高野 晴子</p>	<p>脳神経外科学 准教授 2024年4月1日 国保 優子</p>	<p>麻酔科学 講師 2024年4月1日 岩崎 雅江</p>
--	--	--	---	--

日獣大 特任教員制度

2023年4月、近い将来の活躍および好業績が期待される意欲に満ちた女性准教授が、特任教員制度を活用して、特任教員に任命されました。
※職名は特任教員前

2023年4月に特任教員が誕生しました!

<p>野生 動物学 准教授 2023年4月1日 田中 亜紀</p>

動物シェルターメディスン分野での研究と教育の第一人者。海外で修士・博士課程を修了し、特にシェルターにおける動物管理や災害時の疫学研究など、新たな獣医学領域の開拓に尽力されてきました。研究室は多くの学生から需要が高く、動物福祉に関する社会的ニーズや大学の方向性を鑑み、特任教員として、その分野での活動を広範囲に展開し、貢献することが期待されています。

One Health Vol.10 発行記念特集 ダイバーシティ事業、進化のあゆみと展望

2019年度のダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)採択を受けて、その活動の広報を目的に発行しているNewsletter One Healthは10号を迎えました。これを記念して、ダイバーシティ事業のあゆみを振り返り、今後の展望を見据えます。



本事業によって、これまでにはなかった女性・若手研究者への直接的・多面的な支援が展開され、その結果多くの女性・若手研究者の活躍と上位職登用が進んでいます。さらに、ダイバーシティ講演会等の開催、イクボスの推進といった新しい取り組みにより、組織全体のダイバーシティ意識の醸成が進んでいます。

…ダイバーシティ事業のあゆみ

…社会的な出来事

2019年	2020年	2021年
<p>ダイバーシティ事業 牽引型採択(～2024年)</p> <ul style="list-style-type: none"> 牽引型支援制度の開始 研究支援員配置制度、共同研究補助、英文校閲費用助成制度、病児・病後児等保育支援制度 第1回ワーク・ライフ・バランス等に関するアンケート調査実施 	<ul style="list-style-type: none"> 女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト開始 菊池桃子氏、野口健氏によるダイバーシティ推進講演会開催 Newsletter One Health 創刊号発行(2020年1月) 	<p>令和3年度東京都女性活躍推進大賞 優秀賞受賞(日医大)</p> <ul style="list-style-type: none"> 村木厚子氏によるダイバーシティ講演会開催 女性研究者を支援するクラウドファンディングに挑戦 イクボス推進の取り組み開始、両大学の学長によるイクボス宣言 介護と仕事の両立セミナー開催 第2回ワーク・ライフ・バランス等に関するアンケート調査実施 イクボス宣言

編集担当委員からのメッセージ



日本医科大学
武藏小杉病院 総合診療科
講師 米本 崇子

子育てしながら働く環境を求めて久しぶりに母校に戻ってきてから、縁あってOne Health編集担当委員を務めています。どんなサポートがあれば心折れずに研究も頑張れるか?という庶民目線で、女性医師のキャリアとライフステージ両立の応援団員をしています。スーパーワーカーでなくとも、途中でペースダウンする時期があっても、研究を続け、論文を執筆し、一緒にキャリアアップしていきましょう!こんな企画があったらもっと頑張れる!というご要望があれば、お気軽に編集部までご連絡ください。

活動報告

牽引型

2024年2月21日、シンポジウムを開催しました
「キャリアアップとワークライフバランス すべては日獣大から
はじまつた 私にとってのワークライフバランスとは」

▶ 日獣大



日獣大の卒業生から気鋭の女性研究者4名をお迎えし、研究職キャリアやワークライフバランスについて講演を頂きました。本学4学科の各出身として、獣医学科より木原友子先生(本学教員)、獣医保健看護学科より塩川舞先生(本学教員)、動物科学科より藤原摩耶子先生(京都大学 野生動物研究センター)、食品科学科より家田真由先生(味の素冷凍食品株式会社)にご登壇を頂きました。研究活動と家庭のバランスを取り継続するための心構え、悩み、工夫などをお話し頂きました。講演後は鈴木浩悦学長、植木美希前ダイバーシティ推進委員会委員長と共に、パネルディスカッションが行われました。参加した女子学生からは、留学を含めた研究活動、大学院進学などに関する積極的な質問がなされ、活発な討議が行われました。4名の女性研究者の示す道筋は、女子学生のロールモデル、また参加者全体からも研究者としてのメッセージとして捉えられ、大変意義のある時間となりました。本シンポジウムの内容については、冊子としてまとめ、関係機関に配布しています。

左から藤原先生、塩川先生、植木前委員長、鈴木学長、家田先生、木原先生(撮影:大野二美雄)

女性リーダー育成型

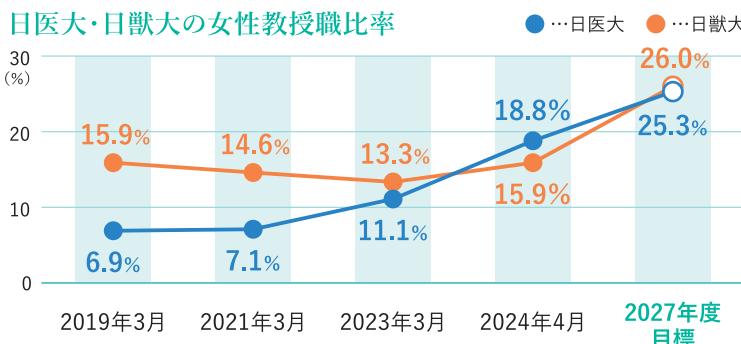
日医大

JoVE(教育・研究用オンライン動画コレクション)を導入しました

日本医科大学ではJoVE(教育・研究用オンライン動画コレクション)のコンテンツを視聴できるようになりました。Research内Biology, Immunology and infection, Medicineの3カテゴリが全て視聴可能で、学術ネットワークに接続したPCにて、日本医科大学図書館ウェブサイトのトップページにあるアイコンから視聴できます。ご自宅からはICT推進センターが提供しているVPN接続で利用できます。皆様の研究活動にお役立てください。7月31日には、JoVE活用のセミナーを開催します。



本事業の目標は、女性上位職比率や女性在職者比率等の向上です。両大学は、学長主導のポジティブアクションを進め成果をあげています。2027年度には女性教授職比率を日医大が25%、日獣大が26%を目指して取り組みを進めます。シームレスな上位職登用を可能にするために、若手研究者の育成および組織全体のダイバーシティ推進の取り組みも一層の充実を図ります。



主な支援制度や取り組みの実績(2019~2023年)

共同研究の支援	31件
研究支援員配置制度	54名
論文校閲の補助	76件
研究力向上セミナー	19回(延べ1,327名参加)
ダイバーシティ推進等の講演会	34回(延べ1,917名参加)
刊行物	34冊

セミナー等のアーカイブ配信は
こちらから



2022年

男性育休の取得を促進する法改正施行 ダイバーシティ事業

女性リーダー育成型採択 (~2027年)

- 高橋政代氏による
ダイバーシティ推進講演会開催
- 管理職対象のイクボス
ワークショップを
5拠点で開催

2023年

入学者に占める女性の割合が半数を超える(日医大)

- 女性リーダー育成型支援制度の開始
海外研修助成制度、フェローシップ制度、5年後キャリアサポート制度等
- キックオフ
シンポジウム開催
- 動画「ライフイベントとともに働く妊娠と出産、
育児編」公開



キックオフシンポジウム

2024年

医師の働き方改革の新制度施行

牽引型最終年度、 女性リーダー育成型 中間評価実施



日本獣医生命科学大学
応用生命科学部動物科学科
助教 倉岡 陸季

私がOne Health編集担当委員になりましたのは2020年9月、第3号から作成に関わっています。ダイバーシティをよく知らない状態から、目を見開かされる思いで勉強をさせてもらっています。コロナ禍を経て、留学を含む海外に向けた研究活動が回復しつつある昨今、リモートシステムによる業務スタイルの確立は新たなワークライフバランスを提示しています。正に幅広い視野と多角的な視点が要求されますので、日獣大ならではの発信を盛り込みながら編集を介してダイバーシティ推進に貢献できればと考えております。



妊娠と出産、 育児とともに働く ための制度を一冊で

本事業では冊子「ライフイベントとともに働く動画
テキストブック」を作成しました。

これから妊娠・出産する方、育児中の方、その上司や同僚の方など働くすべての皆様に知っていただきたい内容です。既に公開している動画「ライフイベントとともに働く」の理解を深めるテキストブックとしてご活用ください。PDF版はOne Healthのホームページよりダウンロードいただけます。冊子をご希望の方は、しあわせキャリア支援センターまでご連絡ください。

「妊活とキャリアを考えよう」を開催しました



2024年3月18日(月)、日本医科大学教育棟2F講堂およびオンラインで「妊活とキャリアを考えよう」を開催し、不妊治療とキャリア継続について理解し、誰もが安心して妊娠・出産できる社会・職場と働き方について考えました。セミナー開催に先立ち本法人の教職員に実施した、妊活に関するアンケートでは、1,000名を超える回答をいただき、関心の高さを実感しました。当日は、日本医科大学、日本獣医生命科学大学、全国ダイバーシティネットワーク東京ブロック参画機関、一般の方、計163名(会場38名・オンライン125名)の参加がありました。妊活とキャリアについて、本学の医師・看護師、厚生労働省の千葉裕子氏の4名の講師から多角的にご講演いただきました。妊活中の方はもちろん、同僚や上司など様々な立場の方に参考になるセミナーでした。参加者からは、「仕事と不妊治療の両立は、みんな悩んでいることだと知れてよかったです」「職場の上司としての対応について学びがあった」とのご意見をいただきました。今後も誰もが働きやすい職場環境実現のための活動を継続して行ってまいります。

犬と猫との暮らし ～ペットがいるワークライフバランス～

日本獣医生命科学大学
獣医内科学研究室第二
准教授 宮川 優一

我が家には、シェルティ11歳の男の子(名前:オレオ)と雑種猫12歳の女の子(名前:こたつ)の2頭がいます。こたつは、2ヶ月歳のときに車に轢かれて妻が働く動物病院に連れてこられ、特に大きな怪我もなく、引き取り手もいなかったので妻が引き取りました。オレオは都内のペットショップで半額になっていたので即決購入しました。猫と犬の同居は初めてでしたが、意外と上手くいき、特にこたつは抱っこされるのも嫌いでしたが、オレオが来てから甘える猫になりました。

夫婦ともに獣医師なので、病気になったときの対応は素早くでき、家での治療管理もできることは役得かなと思っています。最近、オレオががんになり、本学付属動物医療センターのスタッフのおかげで大事なく、治療も順調にできています。出張で家に置いていけないときは、研究室の学生に頼んで世話をもらっています。いつもお世話になっています、という感謝の気持ちをもっています。かなり恵まれた環境なので、犬と猫を飼うことに困っていることはありません。どちらも高齢なので、これからも健康に気遣っていきたいと思っています。



今年の春に善福寺公園で
桜を見に行ったとき

千葉の海に連れて行ったとき



動画配信はこちら

活動報告

…動画配信あり



女性リーダー育成型

- 2月8日 セミナー「サイエンスイラストレーションのすすめ」開催
- 2月20日 女性リーダー育成セミナー開催
- 3月4日 西ゆり子氏講演会＆ワークショップ開催
- 3月31日 2022, 2023年度事業報告書発行
- 5月1日 2024年度大学院女性フェローシップ制度
公募開始(日医大)
- 5月27日 2024年度女性研究者研究費支援公募開始(日医大)
- 6月3日 2024年度リストアアップ研究費支援公募開始(日医大)

【活動予定】

- 7月31日 研究スキルアップセミナー開催

牽引型

- 1月12日 第4回女性・若手研究者キャリアデザイン
プロジェクト報告書発行
- 6月10日 2023年度事業報告書発行

【活動予定】

- 10月21日 研究成果発表会開催(日医大)
- 11月15日 第5回女性・若手研究者キャリアデザイン
プロジェクト開催

支援制度のご案内



本事業では皆様の研究活動を支えるさまざまな制度をご用意しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。ご利用をお待ちしています。

女性リーダー育成型

- 2024年度 国際学会発表助成制度
- 2024年度 論文投稿費用助成制度(日医大)
- 女性を対象とした研究助成金・賞等の情報提供

牽引型

- 2024年度 病児・病後児等保育支援制度
- 2024年度 英文校閲費用助成制度
- 2024年度 英語プレゼンテーション講座(日医大)
- 産学横断型キャリア相談窓口/One Healthメンター制度
- 留学アドバイザー制度

詳細、お申し込みなどは
One Healthのウェブサイトを
ご覧ください

文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)(女性リーダー育成型)

【代表機関】日本医科大学 【共同実施機関】日本獣医生命科学大学 アンファー株式会社

【編集・発行】学校法人日本医科大学 あわせキャリア支援センター 〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5 TEL 03-3822-2131 one-health.jp

